

授業科目	ソーシャルワーク特講 Social Work			担当教員	野田 健 <span style="border: 1px solid black;">実務家教員</span>		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本授業のねらいは、複合化・複雑化した課題を抱える個人や世帯への対応や地域共生社会の実現のため、ソーシャルワーク専門職としての自己について、日常生活の人間関係から見直し、援助関係の形成を行える専門職者になることにある。また同時に、専門性を発揮し、より質の高い支援が行えるよう、組織での協働を円滑に行うリーダーシップを発揮することにある。以上2つのねらいをもって、地域社会の多様な課題に対応でき、また社会福祉の実践において指導的立場で活躍できる資質・能力の向上を図る。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	自己と他者・組織・地域の関係性に関心を向け、真摯に関わることができる。			授業への参加姿勢		25%	
思考・判断	自己の様々な事象に対する思考過程、判断過程をメタ認知することができる。			ディスカッション レポート		10% 15%	
技能・表現	自己の体験を振り返りながら、ソーシャルワーク専門職としての資質・能力を考察することができる。			プレゼンテーション		25%	
知識・理解	ソーシャルワークの価値・理論・技術を理解し、様々な事象に対して活用することができる。			ディスカッション レポート		10% 15%	
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>授業中のレポート発表やディスカッション、参加意欲や発言内容等を以下とおり総合的に評価し、随時授業内でフィードバックを行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加姿勢（25%）：授業中の姿勢・態度を評価する。</li> <li>・ディスカッション（20%）：ディスカッション中の説明の仕方やそこから見える思考・判断・理解度等を評価する。</li> <li>・プレゼンテーション（25%）：授業内で提示する課題に対するレポート発表を通じて評価する。</li> <li>・レポート（30%）：上記のプレゼンテーションで使用するレポートの内容をもって評価する。</li> </ul>							
授 業 の 概 要							
<p>本授業では、地域共生社会の実現に寄与する存在としてのソーシャルワーク専門職に求められる価値・知識・技術を、自己の体験を振り返りながら学習し、専門職者としての自己を確立させていく。適宜、受講生に課題を提示し、その課題に対してプレゼンテーション・ディスカッションを実施し、授業内容の理解を深める。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：佐藤俊一（2005）『対人援助グループからの発見—「与える」から「受けとめる」力の援助へ』中央法規出版 参考書：フランシス・J・ターナー編（2023）『ソーシャルワーク・トリートメント 第6版』中央法規出版</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本授業は、自己の体験を振り返ることをベースに、人としての基礎工事、ならびに専門職者としての専門工事を図るものである。そのため、普段の日常生活やボランティア、専門職者として業務の体験をより多く言語化できるようにしておくことを求める。その言語化した体験を授業内容に合わせて開示・活用することで、自己成長に役立てられることを期待する。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	本授業のねらいと進め方について説明をする。	特になし。
2	ソーシャルワーク専門職に求められる役割① <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	令和3年度の「社会福祉士養成課程における教育内容等の見直し」から、求められているソーシャルワーク専門職像を理解する。	予習：厚労省資料「社会福祉士養成課程における教育内容等の見直し」等を熟読する
3	ソーシャルワーク専門職に求められる役割② <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	新たなソーシャルワーク専門職像が求められた背景について理解を深める。	予習：新たなソーシャルワーク専門職像が求められた背景に関して調べる
4	グループにおける「関係的生」の発見① <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第1章「自分の気持ちを表せない現代人と集団」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第1章を熟読する 発表者はレポートを作成
5	グループにおける「関係的生」の発見② <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第2章「集団とのかかわりからの関係性の発見」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第2章を熟読する 発表者はレポートを作成
6	グループにおける「関係的生」の発見③ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第3章「個人と集団の健康な関係」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第3章を熟読する 発表者はレポートを作成
7	グループ臨床のアプローチ① <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第4章「臨床福祉学の視点とグループ臨床」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第4章を熟読する 発表者はレポートを作成
8	グループ臨床のアプローチ② <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第5章「人間関係の基礎となるコミュニケーション」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第5章を熟読する 発表者はレポートを作成
9	グループ臨床のアプローチ③ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第6章「人間関係におけることば」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第6章を熟読する 発表者はレポートを作成
10	グループ臨床のアプローチ④ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第7章「問われる存在としての人間」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第7章を熟読する 発表者はレポートを作成
11	リーダーシップ／新しく生み出す力① <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第8章「対人援助の専門性と組織での協働」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第8章を熟読する 発表者はレポートを作成
12	リーダーシップ／新しく生み出す力② <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第9章「臨床的視点からの組織と人へのかかわり」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第9章を熟読する 発表者はレポートを作成
13	リーダーシップ／新しく生み出す力③ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書第10章「新しく生み出す力としてのリーダーシップ」のプレゼン・ディスカッションを行う。	予習：教科書第10章を熟読する 発表者はレポートを作成
14	まとめ① <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	教科書全体を振り返り、援助関係の形成、リーダーシップに関する自己の課題を明確にする。	予習：援助関係の形成、リーダーシップに関するレポートを作成する。
15	まとめ② <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">双方向</span>	新たなソーシャルワーク専門職像と自己の専門職者としての資質について考察する。	予習：専門職像と自己の資質に関するレポートを作成する。